



ひまわりだより



病児・病後児保育室ひまわり 2025年 5月

新年度がスタートして1か月が過ぎ、新しい生活にも少しずつ慣れてきた頃ですね。それと同時に緊張が解け、少しずつ疲れが出て、体調を崩しやすい時期でもあります。子どもは不安や感情を言葉で上手く伝えられないので、行動や身体的症状(頭痛や腹痛など)で現す事もあります。わがままや甘えがひどい時は、不安や疲労、ストレスを知らせるサインかもしれません。十分な睡眠と休養を取る事も大事です。また、お父さん、お母さんとのスキンシップを増やしてあげることが何よりも一番効果的なケアになると思います。

病児保育での過ごし方



随時、受け入れ・検温

お子様の様子を伺いながら、書類・持ち物の確認し受け入れます



朝のおやつ・水分補給

体調や月齢に合わせて、午前睡やおやつを食べます



自由遊び・検温

お子様の症状など見守りながら、一緒に遊びます



昼食・水分補給・回診・投与

食量など無理のないように食事を食べます

併設の医師、看護師が、回診にきます



検温 午睡

食事後はゆっくり体を休めます



起床・検温

おやつ・水分補給



自由遊び

体調に配慮しながら、好きな遊びを楽しみます



検温 随時降園

お子様の一日の様子を保護者の方にお伝えします

※上記は一例です。一人ひとりの体調や年齢に合わせて過ごします。



あずかるこちゃん 病児保育



病児・病後児保育ひまわりでは、「あずかるこちゃん」を使用してネット予約を行っています。施設登録をしておくと、いざという時に簡単に予約ができますので、こちらのQRコードからご登録下さい。

～知っておきたい感染症～

ヒトメタニューモウイルス (hMPV) 感染症について

◆ヒトメタニューモ感染症とは

ヒトメタニューモウイルス感染症は風邪の原因の一つです。大部分は風邪で終わりますが、乳幼児や高齢者では重症化して気管支炎、肺炎などをおこすことがあります。この点はRSウイルス感染症と一緒です。生後6ヶ月頃から感染して、2歳までに50%、10歳までにほぼ全員が感染し、その後も繰り返し感染することが知られています。

◆潜伏期間

多くは3～5日です。一年を通して流行しますが特に3月～6月の春に多くなる傾向があります。

◆治療

ヒトメタニューモウイルス感染症に効く特効薬はありません。症状を楽にするための対処治療を行います。対処療法としては、熱を下げる薬が出ることもあります。鼻水に関してはお薬が効くことは少ないので、吸ってあげることが一番よいとされています。

4月の利用状況

合計 39人

上気道炎	14人	ヒトメタニューモ	6人
気管支炎	6人	RSウイルス	4人
		喘息性気管支炎	3人
		感染性胃腸炎	4人
		ノロウイルス	1人
		溶連菌感染症	1人

お問い合わせ

病児・病後児保育室ひまわり
☎ 0738-24-0144

詳しくは、北出病院ホームページを見て

